

# — 関西大学 —

2月3日 経済・商・政策創造・外国語・人間健康学部 英語

## 解答

[I]

- A. (1) B (2) C (3) D (4) A (5) C  
B. (1) C (2) D (3) B (4) F (5) Z  
(6) E

[II]

- A. (1) D (2) B (3) A (4) C (5) B  
(6) D (7) A (8) C (9) A (10) B  
(11) D (12) A (13) C (14) D (15) B  
B. (1) B (2) A (3) C (4) A (5) A  
(6) C (7) B

[III]

- A. (1) B (2) C (3) A (4) C (5) A  
(6) B (7) C (8) B (9) C (10) A  
B. (1) A (2) B (3) C (4) A (5) C  
(6) B (7) A

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

**解説**

〔I〕

B.

文章の並べかえ問題。

接続詞や副詞などのディスコースマーカーになるものが少ないので、**this** などの指示語に注目しながら読み進めないと並べかえられないという点で、少し難解だったかもしれない。

最初の文章 A では男女間の問題で、現実では、ささいな誤解が生じ、口論に発展するものだといった内容が書かれている。これに続くのは、「多くの著者や学者がその問題を説明するために理論を提示してきた」とある文章 C である。C の文章の中の **the problem** は A の段落で述べられている問題全体を指していると考えられる。冠詞 **the** も指示語の一種でありうるので気をつけよう。

次に続きうるものを探すために、文章 B の冒頭の **This** が指すものに注目すると、文章 C の 2 文目の内容を受けられることができるとわかるので、文章 B が正解である。

さらに、文章 B の最後に男女で感情的な必要性は異なり、違った風に問題に対して反応するとある。したがって、具体的に男性、そして女性がどのように反応するかを説明した文章が入ることが推測でき、文章 D か F が入りそうであるが、ここは文章 F 中の **On the other hand** に注目すると、文章 D が先に来なければならないので、D を選び、その次に F が入る。

そして最後に、ここまでの内容を軽くまとめた E を選ぶ。よって文章の順番としては、ACBDFE となる。

〔III〕

A.

- (1) 難解な問題であるが、下線部を直訳すると「広告の影響の多くは、説得にはまったく到達しない」であり、選択肢 A は **products we do not want** 「ほしくない製品」を買うよう説得するという内容が不適。また選択肢 C については、**is not usually designed to persuade** ～「たいていは～を説得することを目的としてつくられてはいない」と目的の話であるが、本文では、影響が説得することではないといった記述なので、選択肢 B が正解となる。
- (2) 子どもが成長したことに気づく具体例となるものを選べば良いので、選択肢 C が正解となる。
- (3) 下線部を和訳すると、「我々が何かを買うたびにどの銘柄にするか悩んでいるよりも自分たちの時間をもっと有効に使える」といった内容であり、つまりは選択肢 A 「我々が買う物すべてにおいて、たくさん考えるのは時間の無駄のように思われる」が正解となる。
- (4) 下線部は、「状況は(**high-involvement products** でも **low-involvement products** の場合と)似ている」であり、何が似ているのかを下線部の前の段落(第 2 段落)の内容から読み取ると、広告の影響がわかりにくい、という点で似ているということである。つまり、小さな影響はわかりにくく、このことは、**high involvement products** でも **low-involvement products** でも似ていると述べているわけであるから選択肢 C が正解となる。

- (5) weigh up は「比較評価する、品定めをする」といった意味であるが、weigh「重さを量る」の意味を知っていれば、文脈からも選択肢 A の evaluate を選ぶことはできるだろう。
- (6) 下線部の the + 比較級～、the +比較級…を正確に理解できれば、B が選べるだろう。
- (7) 軽自動車の利点と欠点を述べたところで、下線部は「(軽自動車は)燃費に関しては良い」といった意味なので、選択肢 C を選ぶ。
- (8) 下線部を直訳すると、「この影響は直接的な説得からは遠くかけ離れている」であり、選択肢 B が選べる。下線部の後ろの Rather から始まる文も具体的な言い換えとして手掛かりにできる。
- (9) 下線部を含む段落 2 文目の～ we return home after a long absence abroad のところを指して、in the intervening period としているところなので、選択肢 C を選ぶ。
- (10) 下線部 claim は「主張」といった意味なので、一番近いのは選択肢 A の assertion である。

## B.

- (1) 「広告が我々にとって理解するのが難しい理由は」、選択肢 A の「間違った側面に焦点を当てる」からである。広告の「説得する」という側面に焦点を当てがちだが、実はもっと小さな影響が大事だ、というのが本文に書かれていることである。
- (2) 「広告を理解したいのならば、我々は時間の経過によって広告がどのように作用するのかを見なければならぬ」で、第 6、7 段落の内容を根拠に選択肢 B を選ぶ。
- (3) 第 3 段落最終文の内容から C が適当である。
- (4) 最終段落や本文全体の主旨を考慮すれば、選択肢 A が適当である。
- (5) 第 6 段落の内容から選択肢 C が適当である。
- (6) 第 7 段落最終文、第 8 段落の内容を踏まえると、選択肢 B が適当である。
- (7) 本文全体で言いたいことは、広告の影響や必要性は小さくて気がつかないところにあるということなので、選択肢 A が適当である。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！